

ヒットタイムス

第十三卷

三月号

叙情小曲
こぼれ小曲
ワグネー
5543





ドーコレートツニ

ニッポロロード
 抜萃一目錄
 総目録は別にニヤンます

③印は文部省推薦

獨奏

○ピアノ

10023	新	奈越	俊調	雨子	澤田	柳吉
10031	新	月	光の曲	三	澤田	柳吉
10032	新	月	光の曲	三	澤田	柳吉

○ハーモニカ

5133	新	青カ	神ル	王行	進曲	タレント大野
5138	新	乙三	女の色	霧	片岡	正太郎
5198	新	荒濱	城根	の	片岡	正太郎
5264	新	故美	郷し	の	空河	
5167	新	サル	ルシア	の	神戶	リード・バンド

○シロホン

5024	新	取	オーター	アーク	マウ	エーブ	スチ	岩井	貞雄
------	---	---	------	-----	----	-----	----	----	----

管絃樂

5203	新	花	那	の	想	行	ひ	列出	日東管絃團
5266	新	支	那	樂	技	萃			

吹奏樂

4130	新	野	日	外	課	號	號	音	步兵第三十七聯隊
4022	新	野	日	本	海	海	々々	音	
4225	新	森	森	の	観	水	治	戰	
5040	新	軍	車	用				精	
4293	新	急	自	動	行	車	列	旅	帝國海軍々樂隊
5210	新	支	那	の	書	叢	の	書	
5263	新	波	慶	を	越	河	の	謎	
5318	新	笑	メ	リ	ミ	た	る	花	の
5474	新	君	君	が	代	行	進	代	
5112	新	國	太	湖	歌	船	行	進	
5211	新	攻	軍	機	マ	行	進	曲	
5267	新	凱	在	軍	人	の		曲	陸軍 戸山學校軍樂隊
5370	新	双	頭	の	パ			驚	

新譜の御紹介

狸々が汲んでも盡きない酒の壺を
楊子の里の孝子に授けたといふ唐ばなし

観世流謡曲

狸

宗家 観世左近

々 一枚

観世流謡曲「狸々」の一枚
もの——これは宗家観世左近
先生の吹込みによる作品で、
その吹込み歌詞も「老ひせぬ
や〜」から「盡きせぬ酒こ
そめでたけれ」までのいふと
ころをピツクアツプして納め
られてございます。ただし絶

大の御好評をたまはつた既發
賣の「奏上」同よう、たいへ
死をもつて出征の夫にはなむけした
涙あらたな軍國美談をつつた新曲

(レコード番号調音一五〇〇元)

ん見事な豪華盤。何卒これま
た御必聴くださるよう、ひた
すら願つて置きます。

解説——この曲は、唐の楊
子の里に住む孝子が、楊子の
里の街へ出て酒を賣ると財産
ゆたかな市民になれるといふ
夢をみたので、精をだして酒
を賣ると、狸々がきては大盃
をかたむけ、孝行を賞めて汲
んでも盡きない酒の壺を授け
舞を奏して去るといふ酒を贈
讃したもので、徳川時代から
めでたい祝言の謡として行は
れてゐるものでございます。



(榎本芝水)

解説——この曲は、既にそ
の當時各新聞紙上に報道され
て大センセーションを起した
涙あらたな軍國美談である
ところの、彼の夫が滿洲出動の
榮えある前途にあつて後顧
の憂ひがなきよう死をもつて
はなむけとした井上中尉夫人
のその悲壯な心境を寫生桂雨
氏が新らしくつづつたもの。

その歌詞の一節——皇御國
に命をば獻ぐる時は來れるに
若しも妾の身一つに心の胸の
絆されて、晴れの戦國におく
れをば取らるゝ事のありもせ
ば、夫は君に忠ならず妾は夫
に貞ならず、よしさらば我が
身を先に打ち捨て、夫を勵
まして送らんと心健氣に決め
にけり。



(藤本芝水)

薩摩琵琶

井上中尉夫人 二枚

榎本芝水

薩摩琵琶「井上中尉夫人」
の二枚つゞき——これは新界
の重鎮である名手榎本芝水師
が、既發賣の「本能寺」に次い
での吹込み作品で、御承知の
何人も涙なしでは聴くことの

できぬ悲壯なものがたりを力
強い演奏によつて納められた
ところのものでございますか
ら、何はさておきこれだけ
ぜひ御必聴くださるようせつ
にお願ひしてやみません。

(レコード番号調音五五五—一二)

人口に膾炙された竹田出雲の名作
菅原四段目の内いろは送りを納めた

義太夫

寺子屋 二枚

竹本南都太夫

三味線 野澤吉彌

義太夫「寺子屋」の二枚つゞき——これはその發賣ごと
にたいへん好評をいたゞいて
ある文樂座の花形竹本南都太
夫師が、既發賣の「堀川猿廻し
」に次いで吹込んだ作品で、
その吹込み歌詞もよりよろこ
んでいたゞけるよう「いま一
度またきに」から「鳥邊野さ
して連れ歸る」の段ざれまで
が撰ばれてございます。けだ
し野澤吉彌師のあいもかはら

(竹本南都太夫)

ぬあぢやかな三味線で力強く
語られたおなじみのこのいろ
は送り、何卒あいかはらずの
御愛聴を願つて置きます。
解説——この曲は、道真公
の飛び梅の故事と、梅は飛び
の歌を竹子として竹田出雲、
並木千柳、三好松落、竹田小
出雲が合作したところの菅原
傳授手習鑑全五段のそのうち
で、もつとも聴きごたえのす
る場だとすばらしい賞讃を博

(野澤吉彌)



してゐる名作で、特にこの場
だけは竹田出雲の筆になつた
ものといはれてゐます。作ら
れたのは延享三年八月、竹本
座の操芝居に上場されました
當時の竹本座は不入りでした

ニツトレコード

三月新譜

その数三十三枚

日東蓄が今月こゝに發賣い
たしました新譜は、宗家觀世
左近先生の謠曲「理々」や竹本
南都太夫師の義太夫「寺子屋
」に加へて榎本芝水師の薩摩
琵琶「井上中尉夫人」や時局
にふさはしい流行歌など、
その数二十五曲三十三枚。何
卒これまた御愛聴のほどをひ
たすら願つて置きます。

がこの淨瑠璃で盛返し、翌四
年三月まで大入をうちつゞけ
たとのことです。なほ曲中に
あそび部源藏の名は元祿ごろ
の江戸の書家、建部傳内のこ
とから思ひついたものである
といはれてをります。

(ニツトレコード五五二九・三〇)

わが國體を叙した
力強い男性の叫び

詩吟

國體篇

木村岳風

詩吟「國體篇」の一枚も
の——これは既發賣の「川
中島・四十七士・見島高德
」と「金州城・豪氣堂々・
樂見行」の二枚で絶讃を浴
び、その次回作品を期待さ
れてゐた國樂振興會の詩吟
奨励部長である木村岳風氏
の吹込みによる作品で、こ
れまたより以上に熱と力の
張りきつた見事なものでご
ざいますから、何卒御必聴
のほどをひたすら願つて置
きます。

解説——この曲は、岩崎敬
天齊先生の筆になるもので
萬國にたくひなきわが大日
本帝國の光輝ある國體を叙
した名作。

(ニツトレコード五五二九・三〇)

児童劇
おもちゃの
世界

長谷山雄菊音楽會

児童劇「おもちゃの世界」の一枚もの——これはいまお子さまがたのあひだにたいへん好評をたまはつてゐるおなじみの長谷山雄菊音楽會のみなさんが、長谷山俊彦先生の指導によつて

(長谷山雄菊音楽會の人たち)



可愛い演出ぶりをみせた作品で、中井修氏の作詞による朗らかなもの。なほ本レコードにはより以上よろこんでいたゞけるよう撥音をふんだんに使用してごさいますから、この點をも御期待くださいまして御試聴の上、お子さまがたへお褒めほだを願つて置きます。あらずい—花子人形が買ひ手がついて近々ひとりや洋行する桃子人形のさびしさを思ひやつて泣くのをブルドック人形がおめでたいことだ。そんなに泣くよりお祝ひする方がいゝだらう」と云ひだしたこゝにおもちゃの送別會が始まる。その歌詞の一節—あめりか行きの桃ちゃん、おめりかづば頭におふりそで、おめいばつちり、きりようよし、さよなら門出を祝ひまじよ、さよなら桃ちゃん、ごきげんよう。

レコード発売部五五番八



有之候御厚意御禮申上候。

羽入三郎

トウチヤンノレコードアリ
がトウ。

中村 義

御惠達のレコード五枚完全
に到着深謝仕り候此の軍歌は
昨年當團團仙臺出發の頃有名
なる上井晚泉氏の作られて送
られしものにて當團團として
は頗る意義深きものに有之夫
々分配して御高情を受け度き
考へに候甚だ略儀乍ら陣中多
事に付き茲に御禮申上候。

第二師團司令部

右は日東藩が發賣の軍歌一
第〇師團勇士の滿洲行を送る
歌—をお送りしたのに對し第
二師團司令部から寄せられた
書狀でございます。

貴會社愈々御隆盛祝上候さ
て中村義太郎遺難に就き厚き
御同情下され彼の微功を貴會
社製作のレコードにより各方
面に御宣傳被下深謝此事に御
座傍又左の同レコード御送付
賜り早速禮取感更に慈きもの

昭和七年 二月十二日印刷
昭和七年 三月一日發行
(毎月一回發行)

壹ヶ年分前納郵税共九拾錢

大阪市住吉區駒川町四ノ
二〇
發行兼編輯 田内 實
印刷 人 田内 實

大阪市天王寺區南日東町
一〇九

印刷所 日東印刷所

大阪市住吉區上住吉町

發行所

日東タイムス社

電話或一〇五〇番



特約販賣店



前右列・石川小織・桂一・都築文男・左後・高田亘・右前
 島津健二・野澤英一・岡本五郎・進藤英太郎・太田右郎・山田好郎・田好郎

滿洲事變を記念する

恰好のレコード

松居松翁氏作

時局
 レコード
 ドラマ

滿洲事變

中村大尉篇
 倉本大尉篇

演出者

小織桂一郎
 都築文男
 高田亘
 野澤英一
 進藤英太郎
 山田好郎
 岡本五郎
 石川薫
 日東樂劇部廿數名

ニッポレコード番號(五五二〇
 五五二一)

加川嘉一郎
 特約販賣店
 廣商郎店